

# 元気確認ウォーキング⑩西部丘陵の里山歩きで元気をもらいましょう

日 時：2021年5月10日（月） 天候：晴 歩数：1万7000歩 12km

集 合：川井公園 10時

コース：川井公園→纏（まとい）緑道→纏神社→かまくら橋→公所（ぐぞ）→公所神社→めぐみが丘公園→  
妙覚寺→吉沢の池→霧降の滝→松岩寺→八剣（やつるぎ）神社→川井公園

参加者：吉野（L） 小野里 新谷 河野 福士 市村 阿部 7名

5月10日、平塚元気確認ウォーキング「西部丘陵の里山歩きで元気をもらいましょう」を行いました。参加者は7人、湘南平の北側の里山歩き、平塚八景の霧降の滝・松岩寺まで歩きました。アップダウンもあり1万7000歩、12kmのウォーキングでした。4月2日に行った「湘南平お花見ハイキング」に続き「やや健」コースぐらいの歩き感がありました。

この日の集合場所は、平塚西部を歩くということで市街地からは北西方向の川井公園。コロナ禍の「元気確認ウォーキング」は、集合場所までは公共の交通機関を使わずに徒歩または自転車であることが約束事。この日は全員が自転車利用でした。「三密を避けてのウォーキング」をベースに、マスク着用、一定の間隔をとって歩き、大声での会話は自粛してのウォーキングです。1ヵ月ぶりの再会、みなさんの顔を見ると元気がでます。5月の風を心地よく感じながら、新緑の里山歩きでした。

写真は吉沢の池から霧降の滝へ向かう木道です。先頭は新谷さん、続いて河野さん、福士さん、リーダーの吉野さん、この後ろに小野里さん、阿部さん、市村です。



## 川井公園 ストレッチ&コース説明 10時12分～纏緑道ふれあい広場

平塚市の市街地から北西へ自転車を進め、金目川の東雲橋を渡ったところが川井公園。10時丁度に参加予定の7人全員集合、河野さんのリードでストレッチ、この日のリーダー吉野さんがコース説明。10時12分スタート、青空の広がる快晴です。金目川右岸を上流へ進みます。10分ほどで纏緑道入口のふれあい広場へ到着、トイレ休憩&東屋の下で横並びのお話しタイム、コロナ禍で話したいこと沢山あるのです。



## ふれあい広場～纏緑道～童道祖神～纏神社～新幹線高架下～大山展望

広場の一角に纏緑道案内図があり、「緑道は江戸時代に築かれた金目川の控え土手で、金目川から溢れた水をせき止め金目川に再び戻す役割をしていた」と書かれていました。木洩れ日の緑道を、私たちグループが一人占めして進みます。童道祖神が道行く人の安全を見守っているかのようです。緑道を出ると纏神社があり、さらに進むと東海道新幹線高架下、東京駅から58<sup>km</sup>943<sup>m</sup>地点の標識がありました。高架下を抜けると田園風景と大山の展望が広がってきました。大山は別名雨降山、その水が田に流れ稲を育てています。



## 田園地帯～農業用水路～公所大磯線～鎌倉街道 河内川鎌倉橋で小休憩

みなさん快調な足どりで田園地帯を進みます。農業用水路に出て、フェンス越しに川面を覗いています。太った鯉が数十匹泳いでいました。田園地帯を抜けて公所大磯線の幹線道路に出ました。かまくら橋交差点のところに、この日初めてのコンビニエンスストア登場、昼食持参しなかった人が「おにぎり」購入。公所大磯線と交差するのは鎌倉街道でした。水分補給して一休みしているところが河内川にかかる鎌倉橋、「かまくらばし」交差点の名称に納得です。説明板に「源頼朝が鎌倉に幕府を開くと、鎌倉と地方を結ぶ道が発達。南原から入り徳延と纏の間を通り公所に至る道もその一つでした」と書かれていました。



## 鎌倉橋～公所地名の由来～公所神社～めぐみが丘公園 大きなクスノキ

鎌倉街道を公所・吉沢方面へ向かいます。公所地区に入ると黒塚の端山家のところに公所地名由来の掲示板があり「公所の地は、古今を通して交通の要地であった。公所とは、役所や関所の所在地をいい、課役の公事（税）を徴収したところから公所の文字があてられた」と書かれていました。小田原厚木道路の下を抜けると公所神社に出ました。階段を上ったところが境内、椿が咲いていました。神社を出て階段を上ったところがめぐみが丘公園、大きなクスノキが何本もあり、公園中央部のクスノキはひときわ存在感がありました。時刻は11時20分、昼食にはまだ早いとのこと、木陰のベンチで小休憩を取りました。



## めぐみが丘公園～丘陵の里山歩き体感～妙覚寺～11時50分吉沢の池

めぐみが丘公園を出て、道幅広い舗装道路を上って行きます。新興住宅地なのか庭もかなりの広さがある大きな家が建ち並んでいます。農地の跡地にはソーラーシステムが設置されていました。景色もだいぶ変わり丘陵の里山歩き体感です。吉澤山妙覚寺前を通り、木洩れ日射す緑の山道へ入って行きます。だいぶ上って11時50分、吉沢の池に到着しました。吉沢の池は、日之宮山（標高150m）を水源とする宮下川の水をためた池で水深は約10m。昭和10年に食糧増産を目的としてつくられたもので、水不足のたびに利用されてきました。



## 吉沢の池 昼食タイム 12時20分～下って上って平塚八景霧降りの滝

昼食タイムです。男性3人は東屋の下で、女性3人はベンチ横並びで。うぐいすの鳴き声と何種類かの蛙の鳴き声が折り重なって聞こえてきます。池の水面を心地よい5月の風が吹き抜けていく長閑な時間です。池端に「水神」の石碑がありました。大事な水源だったのでしょうか。12時20分、午後のウォーキングスタートです。下って上って10分ほどで平塚八景の霧降りの滝到着です。宮下川の上流に位置し、高さ12mの所から水量の多いときは霧のように流れ落ちるので「霧降りの滝」と呼ばれるようになりました。この日は水量少なく、「霧降り」を見ることはできませんでした。



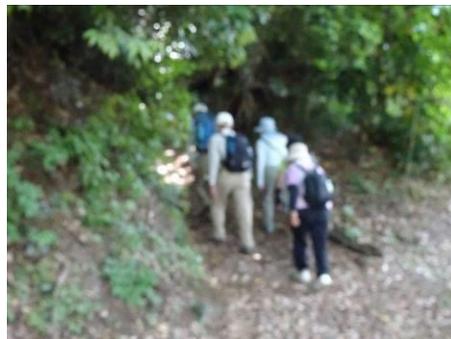
## 霧降りの滝～松岩寺墓地～本堂前ベンチで小休憩 赤い花のブラシの木

霧降の滝を出てハイキングコースにもなっている道を進むと、松岩寺裏手の高台にある墓地に出ました。吉野さんが「上部が丸い墓石は住職の墓だよ」と教えてくれました。墓石の墓碑に確かに住職名が刻まれていました。下に広がる寺境内の先遠くに江の島を見ることができました。墓地の間を下りて松岩寺本堂前のベンチで小休憩、暑さもあり水分補給です。鮮やかな赤い花が咲いています、女性たちが「ブラシの木よ」と教えてくれました。ネットで調べましたら「オーストラリア原産で5～6月頃開花、赤の長い花糸が目立つ。穂状花序をなし、花序全体がブラシのように見える」と説明されていました。



## 松岩寺～急石段の参道～梅畑～厄除けの八剣神社～松岩寺バス停

喉の渇きを癒して、山門をくぐり急石段の参道を下ります。みなさん用心して手すりを使って慎重に下ります。「ここのお寺、この階段を上ってお墓参りをするのは大変ね」との声がありましたが、参道脇の緩やかな坂道を使って墓地に行けます。寺を出たところに梅畑がありました。新谷さんが、道路に落ちている梅の実をひとつ拾ってきましたが・・・ひとつではね～。切り通しを抜けて、厄除けの八剣（やつるぎ）神社に寄りました。湘南平のテレビ塔が見えます、J R東海道線の車窓から見る景色とは反対方向からの景色です。緩やかな下り道を抜けると、平塚駅からのバス終点の松岩寺バス停がありました。



## 松岩寺バス停～東方向へ約3km～14時15分 川井公園 クールダウン

時刻は13時20分、ゴールの川井公園までは東方向へ約3km。以下時系列で、宮下川が合流する不動川沿いを歩きます。小田原厚木道路の平塚料金所西側を歩き、東側に出ました。日向岡地区を通り新幹線高架下を抜けて根坂間地区へ、テニスクラブのところで小休憩。高村団地、山下団地を右手に見ながら徳延地区へ。纏地区に入り14時15分、朝集合した川井公園に着きました。河野さんのリードでクールダウン。1万7000歩、12kmの「西部丘陵の里山歩き」でした。



新型コロナウイルス感染が収束しません。政府は5月7日、東京、大阪、京都、兵庫の4都府県に発令中の緊急事態宣言を延長し、愛知、福岡両県を12日から対象に加えることを決めました。期限は5月末まで。神奈川は引き続き「まん延防止等重点措置」の対象です。5月8日、国内の新感染者は7264人になり1月16日以来の7千人台となりました。

「コロナ禍、交通機関を利用して参加するウォーキングはためらう」との声がある中、昨年6月10日に平塚在住の会員で「元気確認ウォーキング」を始めました。コロナ禍、心身ともに健康維持が大事かと思えます。平塚の会員のみなさん、「身」の方は日頃努力しているようで元気です。「心」の方は、1ヵ月に1度会えることでリフレッシュして帰ることができます。とにかく話題豊富です。今回のウォーキングの会話一部紹介、「75歳以上の医療費窓口の2割負担決まったの」「厚生労働委員会で可決しただけで本会議ではこれからの審議だよ」「せっかく1割負担になったのに2割負担は困る」「とにかく元気でなければ、私たち歩いて子ども孝行ね」「霧降の滝初めて来たわ」「75歳以上のワクチン接種案内きたよ」「高齢者は7月までに接種完了させると言っているね」「医療崩壊大変ね、自宅待機で亡くなっている人もいるね」「新玉ねぎをレンジでチンしてポン酢でおかずの1品になるよ」・・・、紙面なくなりました。次回は6月7日、大磯方面へのウォーキングとなりました。リーダーは河野さんです。(いちむら記)